

令和7年度
事業計画書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

1 演奏事業	01~02
2 音の向上基金事業	03
3 エール基金事業	03

令和7年度 事業計画

名古屋フィルハーモニー交響楽団（以下名フィル）は、昭和41（1966）年に創立した歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与するため、川瀬賢太郎音楽監督のもと公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

1 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

ア 定期演奏会 27回

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

愛知県芸術劇場においては、テーマを「肖像」とし、様々な人間模様や、象徴的な存在を音楽で描き出していく。シーズン冒頭には川瀬音楽監督が指揮、人気沸騰のピアニスト＝角野隼斗が登場する。定期演奏会は年間11回22公演開催する。

Niterra 日本特殊陶業市民会館では、「ベートーヴェンPLUS」と題し、次世代を担う若手指揮者が登場し、ベートーヴェン作品で各々の個性を遺憾なく発揮する。市民会館名曲シリーズは年間5公演開催する。

イ 巡回演奏会 7回

地方自治体等の依頼により、愛知県内外の市町村において開催する。

ウ 移動音楽教室 33回

未就学児及び小・中学生、高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

エ 特別演奏会 19回

ポストをもつ指揮者やコンサートマスターが登場する新たなシリーズ「スペシャル・クワトロ」を年4回開催する。また若年層へ向けて開催している「こども名曲コンサート」を年間3公演に増やすほか、年末の風物詩である「第九」、ならびに障がいのある方などを対象とした「福祉コンサート」等を開催する。また、令和6年度から始めた青少年向けの「音楽のすゝめ」シリーズや、子育て世代向けの「りらくらオーケストラ」を継続的に開催する。

オ 依頼演奏会 30回

企業・団体等の依頼により開催する。

合 計 116回

(2) アンサンブル（小編成の室内楽）事業等

ア サロンコンサート・ロビーコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を開催するほか、定期演奏会、特別演奏会の開演前に、演奏会場のホワイエにおいて「ロビーコンサート」を開催する。

イ まちかどコンサート

市民の方々に気軽に名フィルの演奏に親しんでいただくため、人々が集まる場所での「まちかどコンサート」を、施設等と連携して開催する。

ウ 依頼室内楽演奏会

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施する。

エ 公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルの認知度を高めるため、「公開リハーサル」を開催する。

オ 楽員講師派遣事業

小・中学校に楽員を講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

2 名フィル魅力向上事業

(1) 海外への魅力発信&姉妹都市文化交流事業

創立 60 周年にあたる令和 8 年度での海外公演実施に向け、具体的な事業企画・準備を進める。

(2) 「音楽のすゝめシリーズ」（青少年向けコンサート）

なごや子どものための巡回劇場や移動音楽鑑賞教室、こども名曲コンサートではカバーできない、中学生、高校生をはじめとした青少年へ、作曲家や楽曲への興味をそそるコンサートを開催する。

(3) りらくらオーケストラ（子育て世代&マタニティ向けコンサート）

通常のコンサートへの参加が難しく、生演奏に触れる機会が乏しい子育て世代や妊婦の方々へのリラクゼーション、乳幼児への音楽的素養の醸成を図る。

(4) 吹奏楽クリニック

吹奏楽が盛んなこの地域のさらなる音楽的活性のため、クリニックで細やかな指導を行うことで、若い世代への文化振興を図る。

3 音の向上基金事業

名フィルの一層の音の向上を図るため、「音の向上基金」を活用して、世界的に著名な指揮者及び演奏家の招聘を行うほか、楽器を購入する。

(1) 指揮者の招聘

デンマークの巨匠トーマス・ダウスゴーをはじめ、2023 シーズンに好評を博した 90 歳を迎えるジャン＝クロード・カサドシュや、フランス・ドイツで活躍する新進気鋭の若手指揮者アドリアン・ペルション、ヨハンナ・マラングレなどを招聘する。

(2) 演奏家（ソリスト）の招聘

カサドシュの孫であるジャズ界の天才ピアニストトーマス・エンコや、世界最高のトロンボーン奏者の一人ヨルゲン・ファン・ライエンなどを招聘する。

(3) 楽器の購入

コントラバスを 1 台購入する。

4 エール基金事業

楽員の演奏技術向上等を図るため、「エール基金」を活用し、楽器購入、海外留学及びリサイタル活動に必要な資金を貸し付ける。